

金勝山周辺施設のあり方検討報告 議事要旨

日 時	令和8年1月29日（木）18:00～
場 所	栗東市立農林業技術センター 大会議室
出席者	地元自治会長 金勝生産森林組合 滋賀県森林組合 市議会議員
	【事務局】 栗東市教育部：教育部長、生涯学習課長、生涯学習課係長 栗東市環境経済部：環境経済部長、農林課長、農林課係長
次 第	1. 開会 2. 栗東市金勝山周辺施設のあり方検討報告について 3. 民間譲渡の調査スケジュールについて 4. その他 5. 閉会

A氏

3年ぐらい前、最初にこの方向性についての委員会的な組織があって、私もその委員の1人で意見具申をした。今、話を聞いたらその方向性は盛られている。時間がかかったが、現状はよく理解した。私の立場として、前々から申し上げているが、このエリアは二極化している。いわゆる市街化区域と調整区域。この差が大きい。少子高齢化だ。とにかく子供が外に出て行って、老人のおうちが多い。行政は、市を均衡に発展させるように願っている。行政の支援は、この4施設を中心に力を入れていただきたい。赤字だから切るというのはどうかという思いはある。ただ、3年前に私が意見具申した内容は、当然民間に移譲と言った。民間のノウハウを入れないと役所では一生できない。ノウハウというのはやっぱり民間には負ける。温泉は出ないが場所は良い。名神名阪が近い。非常に簡単に来られるし、都市部に近いエリアであって、観光的な面では良いと思う。観光資源としてのこの山は立派。集客は大丈夫と思う。聞きたいが道の駅は国の指定なのか。道の駅廃止が気にかかるができるのか。

B氏

道の駅については、国交省、国の許認可。全国的な廃止事例でいうと昨年度二つ廃止されていたとはずで、事例はある。金勝の活性化についても、観光という視点の中で先ほど言ったが都市計画法の開発の基準をもう少し緩められないかというような議論をしている。旅行や体験で、この山の施設に泊まっていただけとか、そういう一連

の流れができて、それがふるさと納税とかに反映され、その財源がまた山の振興に使われるような循環型が目指せないかなというような思いではいる。

A氏

許認可や指定管理の条例の縛りがあるがそれを外してもらって、ぜひ民間への移譲を行政として視野に入れてほしい。

C氏

バンガロー村の建物はそのまま残してその機能廃止など、どういう形で進められるのか。

B氏

基本的には建物を建てかえない。

都市計画法による開発許認可制度の中で、観光に資する施設という位置づけの中で、その制度、もう少し緩めて建物を建て直したり、改修したりできるような形をとって、いこうという流れで進めて、エリア指定して、そのエリアの中であれば、開発できるようにしていく考えだ。このことについては、地権者等がおられるので、その地権者等にも説明していくが、先に内部で、住宅課等と協議している。

D氏

財政的な話は別にして、私は将来的に金勝の観光というのを考えて、一旦つぶしてしまえば、これは次に作り上げるのは非常に難しい。植樹祭の頃、観光地にしようという動きの中で、施設等を作っていた。その思いを今ここでどうして市が流してしまうのか。不思議ではない。金勝の中で、観光のこれからの拠点になっていくと思う。そこを売り上げが上がらない、費用がかかる。こういった検討されるのは非常に疑問に思うし、もし儲からなければ市が補填していただく。これが市の役割ではないかと考える。やはり道の駅は各施設の中心になっている。指定管理の枠をいろいろ取っ払っていただいて、裁量をもう少し広げて、売り上げを伸ばしていく、そこに人が集まり、施設の維持管理が進んでいく。これが望ましい。道の駅、県民の森を利用してイベントをやって人を集める。走井、成谷でもイベントをやっているわけだから、人が集まってくる。そしたら道の駅で物も買っていただく。地元の野菜とかそういったものを今出しているが、その方たちのことも考えないといけない。あそこで特産品を売って、目玉を作っていただく。まずこれを検討してほしい。最終的には廃止の方向は、私から言えばけしからんこと。反対の嘆願書、それから署名運動というようなこともありえる。将来の人たちが非常に困る。ぜひともこの案については再検討していただいて、継続の方向で考えていただきたい。市長等にもいろいろ話をさせていただく機会もあり、大戸川ダムに関して、観光として、いろんなことができるか。道の駅それから森遊館、それと未来館、フォレストアドベンチャーがあるから、それを絡めて、やっといこうという話がある。市長は、方向的にはもっと頑張らないかとは思っていただいていると思っている。だから、ぜひとも廃止ではなく、継続の方向で人集めをすることにみんな一緒になってやるという方向でしていきたい。

B氏

観光の拠点としては十分重要視させている。第2期の観光戦略の中でも金勝山を始めとした部分をレクリエーション施設の拠点としてやっといこうということで位置づけ

をしている。公共施設を廃止したからといって、観光施設として、観光拠点として廃止していくわけではない。民間の力を借りて、観光の拠点として活性化させていきたいという考え。貴重な意見として報告書で挙げさせていただく。

E氏

今日の報告だが、唐突に住民は知らされた感覚がある。今までの市民に公表されている内容は、市のホームページを見ると、令和6年の実績ぐらまでしか載っていない。今日唐突に8年以降の見通しを見せられた。令和6年のときを見ると確かに若干赤字だが、十分回復は望めるという書き方をしている。それが、今日、赤字でやっていると報告があった。市がやる仕事は、上とか、しがらみ、こういうことを優先してやった成れの果てがこういう形になってしまう。結局、建物建てて古くなったらやめるのはよくある話。どこまで話が進んでいるのかもわからないが、民間に譲渡すると、利益優先でやる。地域が考えているような形で未来永劫いける保証は全くない。それも含めて、慎重に考えていただきたいと思う。

B氏

説明会については、間が飛んでいるというのは認識している。本日も地元の方から声がけいただいて開催している。準備が終わった後にさせていただこうかなとは思っていた。民間譲渡の心配な部分についても、意見があるとは思いますが、やはり右肩下がりの状況がずっと続いているというところでどうにか打開できないだろうか、観光の名所にできないだろうかというような中で、検討を重ねてきたというようなところだ。地元説明会の中ではそういう意見もあったということは報告に上げさせていただきたいと思う。

F氏

今後の考え方、具体的なある程度のプランを同時に出していただきたい。これだけだとやめていくばかりと皆さんそういう取り方をするので観光拠点として残すなら、今後どうやるという、ある程度の展望を出していただいて、進めてもらいたい。

B氏

そのように努めていく。

A氏

各施設は、地域活性化の一つの拠点ですから、廃止するのはいかんというのは3年前の意見でも当然あった。行政としては、そのとき以来ずっとこの問題意識はずっとあるわけですが、この地元でそういう情報全然流してない。あのときに一つのまとめがあったはず。何の公表もなかったわけですからまさに皆さん知らん話ばかり。住民に周知して、ノウハウをやっぴりいろんな形の中で吸収して、それを求めていくことにしないといけない。議員が地元におるわけですが、議員を通して皆さんに知らしめるといふ方向性などをお願いしたい。

B氏

指定管理の経営状況等についてはホームページ等で公表しているが、山のあり方については、説明不足、時間が空いているというのは、ご指摘の通りだと思う。今後、動きがありましたら、説明をさせていただきたいと思う。

D氏

指定管理の終わりの時期は来年の3月の予定か。この資料の中にあるように、道の駅の機能を森遊館に持っていくと見えるが、そのまま機能が果たせるか。道の駅は、周辺施設の中でも一番大きなポイントになる施設だと思う。だから民間がもしできないならば、行政で何とかやっ払いこうという方向性が本来ならば出ると私は思う。重要性の市の考えが違うのではないか。もう一点、先ほど人をたくさん誘致してほしい、そういう施策を行っていただきたいとお願いしたが、ふるさと創生で作った石段ですけども、ここを利用されている形跡はほとんどない。どこにあるかわからんような看板がある。もう一つこの施設の周りに遊歩道が作られている。この遊歩道も整備がされてないので、散歩している方はおられない。ここを綺麗にして、人に来てもらうことをするのが、市だと思う。いくらでも人が来ていただけるようなことはあるはずなので考えていただきたい。その中で、道の駅は絶対に廃止できない私は建物だと思う。機能を移しても難しい。

B氏

指定管理期間につきましては、令和9年3月末まで。道の駅の機能を森遊館へ移すこと等、規制緩和につきましては、昨年6月に条例改正を取り組んでいたが、公募直後で条例改正すると、公平性に欠けるためできなかった。今年6月とかを目指して進めていこうと思っている。規制緩和は、森遊館は例えば条例改正しなくても宿泊者でなくてもお風呂が使えるようにとかさせていただいた。何らかのお客さん呼び込めるような工夫ができないだろうか条例改正しなくてもできるところはやっ払いしている。本質的には条例改正したかったが、内部的なコンセンサスが図れなかったので再度チャレンジを考えている。条例改正の中で林業振興とか農業振興として建物が設置されている条例の条文があるので、観光の要素を入れていく。例えば物販であるとかも含めてできないだろうか検討をし、そういう工夫を入れていく考えだ。遊歩道などの整備についても、なかなか市で追いつけない部分で、かつてファーザーズ倶楽部というボランティア団体に直していただいた経過がある。民間の力も借りて、整備もできないだろうか、手伝ってもらえないだろうかと話をしており、実行できればと思っている。市がするだけではなく関わっていただいた方に、その資源のありがたみとか実感していただいて、愛着をもってもらい利活用していただければ人の縁を広げていけるような工夫ができないかと議論している。道の駅の機能については、条例改正をする工夫の中で、その部分を持っていきたいという考えだ。

G氏

指定管理者として、道の駅は新名神の開通やコロナによる集客の減というようなことがあり、非常に厳しい経営状況、確かに右肩下がりというような状況だ。県道沿いの立地でないとなかなか道の駅の機能っていうのは果たせないのかなと思う。道から奥まで入ってトイレするのか、その位置づけは難しいなと思う。中心的な場所なので、できたら市民の方の憩いの場として存続という観点からもう一度検討していただきたい。指定管理も続けるのであれば管理者として協力をさせていただきたい。

B氏

観光の拠点として考えており、トイレを廃止はできないと思うし、むしろすべきでないと思う。最低限のところの施設については、民間の力を借りる中でそういった準備もする必要があると思う。

G氏

施設の方向性の総論の中で、自然体験学習センターは本市にとって有益であると書いてあるが誰が判断されたか。交流センターは有益でないのか、それは誰が判断するのか。市民の皆さんの意見を聞いて、声を吸い上げて最終的な判断をお願いしたい。私は家が栗東ではないが、また利用したいなと思っており、よろしくをお願いしたい。

H氏

資料にある有益は青少年育成にとってという部分だけです。他の施設が有益ではなく、ここだけが有益であるというものでは決してない。栗東市に青少年育成に係る施設財産が少なく、貴重な教育財産であると考えている。

I氏

我々議員としては去年の12月23日に、今日の資料よりボリュームがあるもので、説明をいただいた。部長の話で、4施設とも観光施設として残していくのだということは、今日初めて聞いた。そのとき質問しなかったからかと思うが、大変ありがたいことだ。4施設とも残していくという言葉は大変重くて大変ありがたい。その中で財政的な問題もあって、民間譲渡もやむなしというような状況になっても運営していただければ大変ありがたい。ただ、先ほども意見が出ましたが、民間は利益が出なかったらやめていく、無償譲渡してしまったら。それは取り返しがつかない。だからそういったことになったときに、市が4施設とも、観光戦略に則って施設として残していくのであれば、市はしっかり担保していかなといけない。その継続できる環境をその部分を市はどう考えているのかを聞きたい。

今日、皆さんに集まっていただいて、いろんな意見があったが、その反映はどのような形で出されるのか。今日の説明会も資料のスケジュールにのってない。本市の施設をこれまで守ってきた人たちへの説明会のスケジュールもここにちゃんと入れなきゃいけない。これ見ていたら淡々と進んでいく。今日聞いた意見の反復もあり、ここにもう1回、2回ぐらいは地元の人と団体等との話し合いの機会を設けるべきだと思う。

B氏

スケジュールの案は、内部的にまだコンセンサスが図れてなくて、今日のために概要版だけでは心もとないので厚みを持たせたというところでご理解をいただきたい。観光施設の説明については、同日の議会説明会の中で、観光戦略の説明をさしていただいたと思うが、その中で、自然観光資源の利活用で、金勝山の天馬の森を始めとした交流憩いのレクリエーションの拠点としてやっていきたい。その周辺については施設にて事業をしていく。公共施設を廃止する場合においても、民間活力による維持が可能となるよう、土地利用していきたい。当然ハイキングを初めて始め森林体験やキャンプ場、フォレストアドベンチャーの多彩なアクティビティ、またアウトドアを始めとする観光ニーズが高い観光資源もあるので、活用していきたい。先ほど澤組合長からも話があったが、大戸川ダムを整備に伴って、その周辺でも観光振興を図ることを観光戦略でうたっている。観光という切り口で、そちらも説明している。

I氏

これらの施設は残していきたいというのが金勝の人の思いだろうと思うし、あの土地の方もそう思っていると思う。あそこは1日9000台、上り下りで車が通っている。それを考えると工夫することで、利活用できることは十分にあると思う。山でありハイ

キングも多いことを考えると道の駅、要するに水分補給とかも含めて、施設がないと観光に来られないという状況でもある。市としてしっかりと観光施設としてやっていくというのを、観光戦略の中にもしっかりと、担保するということを記載してほしい。部長さんが変わろうが、市長が変わろうが市として継続してもらうために。いつの間にかもう終わりになってしまうのが皆さん心配していることだと思う。その辺よろしくお願ひしたい。

B氏

本日の意見の内容につきましては、また持ち帰らせていただいて、共有させていただきたいと思う。

J氏

市民の立場として今、皆さんの意見を全部メモに残した。市は説明不足です。突然この計画概要版を出されたのは、私達議員も今、3名いるが、12月の説明会で突然この廃止という言葉がね、私達の目に入ってきた。それまでは山のあり方検討委員会どうなっているか、あの話はどうなっているかと、幾度となく質問したが、まとめているところでできていましてと続けてこられて、唐突に12月の説明会議会説明会で、このような報告をされた。議員も面食らってしまったのに、地元の方にとってはあまりにも唐突で、ここに書いてあるのは民間がやってくれたら成功する、お金が入ってくる、ふるさと納税が入ってくる、金勝が活性化すると説明はあるが、民間の希望がない場合は、解体するとはっきり書いてある。道の駅は機能を移す、とごまかさないうで欲しい。自動販売機を置くことですか。物販をさせることですか。農産物の販売スペースを作ることを機能と言われているのか。国交省が認定している道の駅という看板を下ろすと言われているのか。

B氏

議会として初めて12月に聞かれたのは事実誤認だと思う。これまでの積み上げについて中間報告という形で6月議会、また議会説明会で説明させていただいている。市民の方には時間が空いていた事実があるが議会で今回初めて聞いたというのは事実誤認だと言いたい。

J氏

事実誤認だとおさめましようか。それでも、これが最終的な方向性で先ほど言われたこのスケジュールを見て、もう決まっているように説明があった。アンケートを取られて、一番市民の認知度が高かったのはどこですか。道の駅だった。利用者数もそうだが、一番皆さんの認知度が高かった道の駅というものを廃止して、皆さんの利用度、落としていく金額は少ないかもしれないが、認知されていて、来客数が多いところの看板を外すという決断をされた理由がわからない。丁寧さに欠ける説明だったのではないかと思う。丁寧な説明をして、これからしっかりしたビジョンを、例えば、民間が譲渡した民間が受け取ってくれる可能性が何%あるのか。実際にサウンディングに手を挙げている人が今現在どのくらいあるのか。どういった業種なのか。行政側が把握しているのであれば、こういうプランニングもあると示したいただかないと理解が得られないと私は思うが、いかがか。

B氏

民間譲渡するのであれば、民間の情報、どういった観光に資するかを並行して出してほしいという意見をいただいております、重点を置いて考えていく。事実誤認をしていた

だきたくないのは、ただ単に道の駅を廃止するだけではない。観光施設としてそういう機能を持たしていこう、拠点としていこうというところで、考えている。天馬の森周辺、金勝の山の拠点となるように取り組んでいくのが大前提になっている。先ほどのスケジュールについても、来年3月末に指定管理の業務が終期を迎える。それを逆算して一旦、作ったたたき台で、廃止の方向であり方の検討の報告書をまとめたが、最終的に廃止ができるかどうかについては議会の議決もとらないといけない。その意味では議員さんの了解を取りつけないといけない。単なる廃止ではなく、民間の力を借りて、次なる観光の拠点となるようにしていきたい考えということで検討報告書をまとめさせていただいた。具体的なスケジュール等につきましては、できたら内部会議でいろいろ議論をした上で説明会をさせていただきたいと思っていたが、先に説明会が決まったので今回こういった形になった。このスケジュール案についてはご容赦願いたい。

D氏

廃止ではなく、廃止の方向に検討しますという話だが、聞いているともう廃止の方向で行くぞというようなことにも見えかねない。再度言うが、道の駅こんぜに関しては、今物販の関係で野菜を作って出している方もいる。来年この場所はこうなりますとの人たちも伝えないといけない。それから滋賀県森林組合は、事業費の関係もあり、決めていかないといけないから心配するのは、民間譲渡等が出来なかったら、こうなるということに進んでいくような気がしてならない。指定管理者が他でもいいわけだが、継続することをもう一度考えてほしい。

B氏

現在、指定管理については、指定管理の公募のときに終期が決まっており、各事業所は理解の上で経営していただいていると思っている。先ほど野菜の話が出たが、道の駅従業員さんが回収に回って、品物を並べられていると聞いており、アグリ郷みたくに農家の方が直接、皆さんが全員で持っていられるというような感じではない。利活用されている方についても、新しい方法等について話をさせていただきたい。

K氏

いろんなご意見、皆さんから出たので、市で整理をしていただいて、また回答を検討いただきたい。スケジュールはあると思うが地元の方との対話の機会を作ってほしい。

B氏

回答というのは？

K氏

今日の意見を内部で協議し、例えばこういう風にしたと。

B氏

今、質疑応答させていただいた。

J氏

今3月に下準備に入られても困る話ではないか。6月定例会で10月には予算付けをしている。本来なら今答えないといけない問題を内部コンセンサスと言っている場合

ではない。

B氏

議会議員としての発言でしたらまた議会でよろしくお願ひしたい。

J氏

わかった。

D氏

私としては回答は必要ないだろうと思う。各団体には、こういう方向だということがもう少し随時、ニュースを入れていただくのも一つの方法かなと。それで方向性が見えて、会って説明会になってくるか、構いませんということになるのか。それはわからないが文書で回答はないのかなと思う。随時そういった流れが我々の耳に入れていただく方法、これを考えてもらえたらと私は思う。

B氏

回答ではなくてまた改めて説明会をさせていただくというような方法でお願ひしたいと思う。

K氏

では、また流れの方向性を説明していただきたい。

以上